

テイコプラニン点滴静注用 200mg 「VTRS」

【この薬は？】

販売名	テイコプラニン点滴静注用 200mg 「VTRS」 TEICOPLANIN for Injection
一般名	テイコプラニン Teicoplanin
含有量	200mg（力価）（1バイアル中）

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、グリコペプチド系抗生物質製剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、細菌の細胞壁の合成を阻害することにより、殺菌的な抗菌作用を示します。
- ・次の病気と診断された人に、医療機関で使用されます。

〈適応症〉

敗血症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肺炎、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染

〈適応菌種〉

本剤に感性のメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）

- ・この薬は、メチシリン耐性の黄色ブドウ球菌感染症に対してのみ有用性が認められています。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にテイコプラニン点滴静注用「VTRS」に含まれる成分に対して過敏症のあった人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・過去にアミノグリコシド系抗生物質、ペプチド系抗生物質またはバンコマイシン類に対し過敏症のあった人（ただし、過去にテイコプラニンに対し過敏症のあった人は使用できません）
- ・アミノグリコシド系抗生物質、グリコペプチド系抗生物質またはバンコマイシン類による難聴またはその他の難聴のある人
- ・血液透析を受けている人
- ・腎臓に障害がある人
- ・肝臓に障害がある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○ショックやアナフィラキシーがあらわれることがあるので、過去に抗生物質等によるアレルギーがあった人は、医師または薬剤師に伝えてください。

【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

●使用量および回数

使用量、使用回数等は、あなたの年齢、体重、症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において注射されます。

通常、成人の使用する量および回数は、次のとおりです。

いずれの場合も、30分以上かけて点滴で静脈内に注射します。

【成人の場合】

	初日	2日目以降
一回量	〔敗血症以外〕 400mg（力価）または 800mg（力価） 〔敗血症〕 800mg（力価）	〔敗血症以外〕 200mg（力価）または 400mg（力価） 〔敗血症〕 400mg（力価）
使用回数	2回に分けます	1日1回

【乳児、幼児または小児の場合】

	1～3回目	4回目以降
一回量	体重1kgあたり10mg（力価）	〔重症感染症以外〕 体重1kgあたり6～10mg（力価） 〔敗血症などの重症感染症〕 体重1kgあたり10mg（力価）
使用回数	12時間ごと	24時間ごと

〔新生児（低出生体重児を含む）の場合〕

	初回	2回目以降
一回量	体重 1kg あたり 16mg（力価）	体重 1kg あたり 8mg（力価）
使用回数	—	24時間ごと

- ・腎臓に障害がある人には、その程度に応じて投与量または投与間隔が調節されて使用されます。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・ショック（冷汗が出る、めまい、顔面蒼白、手足が冷たくなる、意識の消失）、アナフィラキシー（全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どき）、息苦しい）があらわれることがあるので、点滴開始から終了後まで、安静にしてください。異常を感じたら、医師または薬剤師に連絡してください。
- ・めまい、耳鳴、聴力低下等の第8脳神経障害があらわれることがあるので、聴力検査などが行われます。
- ・無顆粒球症（突然の高熱、寒気、喉の痛み）、白血球減少（突然の高熱、寒気、喉の痛み）、血小板減少（出血が止まりにくい、鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる）があらわれることがあるので、定期的に検査が行われます。
- ・急性腎障害（むくみ、体がだるい、尿量が減る）があらわれることがあるので、定期的に検査が行われます。
- ・AST、ALT、LDH、Al-P、 γ -GTP、総ビリルビン等の上昇、黄疸（体がかゆくなる、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる）があらわれることがあるので、定期的に検査が行われます。
- ・本剤投与終了後においても遅発性の副作用があらわれることがあります。発疹、かゆみなどの皮膚症状があらわれた場合には、ただちに主治医に連絡してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
第8脳神経障害 だいはちのうしんけいしょうがい	ふらつき、めまい、耳が聞こえにくい、耳鳴り、難聴

重大な副作用	主な自覚症状
中毒性表皮壊死融解症 (Toxic Epidermal Necrolysis : TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう (テン)	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (ステーブンス-ジョンソンしょうこうぐん)	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
急性汎発性発疹性膿疱症 きゅうせいはんぱつせいほっしんせいのうほうしょう	発熱、皮膚が広い範囲で赤くなる、ところどころに小さな膿をとまなう発疹が出る
紅皮症 (剥脱性皮膚炎) こうひしょう (はくだつせいひふえん)	ほぼ全身の皮膚が発赤する、発熱をしばしば伴う、しばしばフケのようなものがはがれ落ちる
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
白血球減少 はっけつきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、発熱、発熱をしばしば伴う、突然の高熱、寒気、出血が止まりにくい、むくみ、体がだるい、疲れやすい、力が入らない、体がかゆくなる
頭部	めまい、意識の消失、しばしばフケのようなものがはがれ落ちる
顔面	顔面蒼白、鼻血
眼	目の充血やただれ、白目が黄色くなる
耳	耳が聞こえにくい、耳鳴り、難聴
口や喉	喉のかゆみ、唇や口内のただれ、喉の痛み、歯ぐきの出血、吐き気
胸部	動悸、息苦しい
腹部	食欲不振
手・足	手足が冷たくなる

部位	自覚症状
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、皮膚が広い範囲で赤くなる、ところどころに小さな膿をとともなう発疹が出る、ほぼ全身の皮膚が発赤する、あおあざができる、皮膚が黄色くなる
尿	尿量が減る、尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

性状・剤形	白色～淡黄色の容易に崩れる塊又は粉末（凍結乾燥製剤）
形状	

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	日局 テイコプラニン
添加剤	塩化ナトリウム、pH 調節剤

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
製造販売会社：ヴィアトリス・ヘルスケア合同会社
販売会社：ヴィアトリス製薬株式会社
メディカルインフォメーション部
フリーダイヤル 0120-419-043
受付時間：月～金 9時～17時30分
（土日祝および当社休業日を除く）